

# おきたま 社会教育情報

Vol. 135 令和3年10月号

第43回全国公民館研究集会 第66回東北地区公民館大会山形大会

## 令和3年度東北地区社会教育研究大会

(兼) 第12回山形県社会教育研究大会  
第59回最上地区生涯学習推進大会  
第38回山形県生涯学習振興大会最上大会

## 高畠町和田地区地域学校協働活動に学ぶ

10月14日(木)、オンラインで標記大会が開催されました。本来であれば、東北各地から新庄市に集まって行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大によりオンラインでの開催になりました。

この大会の分科会では、「地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくりの推進」というテーマで、高畠町和田地区の地域学校協働活動について地域コーディネーターの二瓶ひろみさんから事例を発表していただきました。

和田地区では平成20年12月から「学校支援地域本部事業」が始まり平成25年度には県内で初めて文部科学大臣表彰を受けています。令和元年度には「地域学校協働本部」と名称を変え現在に至っています。仕組みとしては平成20年に始まっていますが、それ以前より地域との関わりが深く、学校で地域の方を見ない日はないほど地域の方が学校に出入りしています。

分科会では、「その多様な活動をどのように仕組んでいくのか。」「人材確保はどうやっているか。」等、活発に質問や意見をいただきました。和田地区の事例を参考にして自分たちの活動に活かそうとする参加者の熱意が伝わる会になりました。

第2分科会  
地域と共にある学校づくり・学校を核とした地域づくりの推進  
【学校・家庭・地域の連携協働】

地域と学校 みんなの力で  
子どもたちの未来を拓く

高畠町和田地区地域学校協働本部  
地域コーディネーター 二瓶ひろみ



かけ算九九を聞いてもらいます。児童は合格できるまで何度もチャレンジします。

新入生の下校の安全を守ります。



上和田有機米生産組合、農業委員の方など、多くの方々の協力を得て稲刈りを行います。なわなひなども行います。



さつまいもや大豆など様々な作物を育てています。大豆はみそに加工したり地区のまつりで販売したりします。



次年度の東北社会教育研究大会は福島県いわき市、県社会教育研究大会については長井市を会場に行われる予定です。県大会については4年に1度の置賜地区での開催です。多くの皆様の参加をお待ちしています。

「和田」の「お便り」で「わだより」。児童がわだよりに興味津々です。全戸配布用の拡大版「わだより」もあります。

## 第2回家庭教育出前講座

# 米沢市ファミリー・サポート・センター



10月7日(木)、米沢市の東部コミュニティセンターで第2回家庭教育出前講座を開催しました。

今回は、米沢市ファミリー・サポート・センターの協力会員の方を対象に「保育の心～安心・安全な居場所づくり～」の演題で高瀬尚美氏(山形県家庭教育アドバイザー)より講演していただきました。ファミリー・サポート・センターは、地域に住む、育児を応援してもらいたい人(利用会員)と育児をお手伝いしたい人(協力会員)を結ぶ会員組織で、事務局のアドバイザーが会員同士の橋渡しを行い、一時的・突発的なお預かりや送迎などを行います。子どもを預かるという事は命を預かっているという事、預かっているときは全責任があるという事、安心して利用してもらうには信頼関係を築いていく事、預かる際の自宅の環境の整え方は、子どもの目の高さで確認する事などを具体例と写真を提示してお話していただきました。参加者からは「現場での体験を通してのお話は、わかりやすかったです。すぐに実践したいと思います。」「命を預かるって大変なことだけど勉強しながらしていきたいと思います。」などの感想が寄せられました。

今回はファミリー・サポート・センターの養成講座の1講座を家庭教育出前講座として開催しました。地域の子育てや家庭教育を支える人材育成のよい機会になったのではないかと思います。置賜教育事務所では、家庭教育出前講座において、御希望に合わせた講座をプロデュースします。ぜひご活用ください!



## 山形県スポレク祭ふれあい交流会

### 兼 置賜地区総合型地域スポーツクラブ交流研修会



10月23日(土)、川西町民総合体育館で山形県スポーツレクリエーション祭ふれあい交流会が開催されました。地区の総合型地域スポーツクラブの関係者が数多く参加し、楽しみながら交流を深めました。

前半は県レクリエーション協会の鈴木藤弥氏より、「アイスブレイク」の進め方について、実践を通して教えていただきました。じゃんけんをしたり、走ったり、跳ったり、動物の真似をしたりと様々な活動を紹介していただきました。参加者同士は初対面

の方がほとんどでしたが、すぐに打ち解けて温かい雰囲気になり、アイスブレイクの効果を実感しました。

後半は、東京パラリンピックでも話題となった「ボッチャ」のルールについて、スポーツかわにしの森和也氏、菅井新一氏より教えていただきました。グループに分かれて実際にプレーしてみると、運動経験などに関わらず、気軽にプレーできること、最後の最後に大逆転が起きることもあるところなど、ボッチャの魅力にすっかり引き込まれました。今回の交流研修会は、各クラブに戻ってもそれぞれの活動に生かせる部分が多く、非常に有意義なものになりました。

※本情報紙の本文は、UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体を使用しております。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 Tel. 0238(88)8242】